

令和4年度

長野救命医療専門学校 学校関係者評価 自己点検報告書

教職員自己点検結果

1 教育目標

医療等に携わる者として、「確かな専門性」と「豊かな人間性」を兼ね備えた学生を育成する。

そのため次の視点から専門教育と人間教育の統合を図る。

- ①自己研鑽に励む優れた教職員が、充実した施設・設備を駆使して、学生の期待に応えるための専門教育を展開する。
- ②学生が自ら学び共に磨き合うことを大切にしながら、基礎基本の確実な定着と実践的態度の向上を図り、医療等のスペシャリストを養成する。
- ③傷病者の治療・施術や指導、心のケアを担当する医療・福祉スタッフの一員として、優しい心で真心を尽くすことが出来る学生を養成する。

2 建学の精神(校歌三心)

- 1 自主(医術) ~救命医療に関する知恵を修め技術を磨く
- 2 愛(意思) ~救命医療の業務に誇りを持ち、慈愛の心を耕す。
- 3 至誠(医道) ~救命医療の道における誠実な在り方を究める

3 学校運営の重点

1、個性の開発

- (1)基礎基本となる学力の確かな定着を図る。
- (2)主体的な学習態度を育成する。
- (3)学生相互の信頼関係を深化し、切磋琢磨し合う集団を形成する。

2、特色ある教育課程の編成

- (1)教育内容を精選し、その関連性と発展性を明確にする。
- (2)救命医療に係る実践的な教育内容の充実を図る。
- (3)「確かな専門性」とともに、「豊かな人間性」を育む展開を組織する。

3、生活指導の徹底

- (1)学生を共感的に理解し、自立するよう支援する。
- (2)基本的生活習慣の定着と健康安全に関する指導を徹底する。
- (3)定期教育相談、並びに必要なに応じた個人面談等を実施する。

4、開かれた学校

- (1)地域社会との連携を図り、諸活動に積極的に参加する。
- (2)学校評価、並びに学校関係者の協力を得て、学校運営の向上を期する。
- (3)保護者懇談会、保護者説明会等を実施する。

5 評価項目の達成及び取り組み項目

※該当する数字に○印、[]内にご意見がございましたら記入してください。

(1) 教育理念・目標

(数値は左が2年度、右が4年度)

評 価 項 目	4(適切)・3(ほぼ適切) 2(やや不適切)・1(不適切)	
	2年度	4年度
教育目標・育成人材像は定められているか	3.75	3.71
教育目標・建学の精神・育成人材像等が学生・保護者等に周知されているか	3.67	3.50
教育目標・建学の精神・育成人材像等は、各学科に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	3.50	3.29

①課題

- ・法改正により、今後は病院を希望する学生が増加する可能性があるため、現在の本校のカリキュラムで満足に指導できるか不安がある。
- ・学生の学習意欲の維持。
- ・外部関連業種との繋がりが作れていない。

②今後の改善方策

- ・教員の研修の機会を増やす。
- ・企業訪問、救護やボランティア活動への参加。

③特記事項(本校の特色)

- ・学生の学業から生活までを責任をもって丁寧に対応している点
- ・少人数学級のため、個々に合わせた授業展開
- ・各学年において国家試験対策が行われている。また、実技授業が充実している。
- ・教職員の資格を活かし、開かれた学校
- ・学習した知識、身に付けた実技の実践教育
- ・救急救命士という枠組みにとらわれず消防士としての技術も身に付けられる。

(2) 学校運営

(数値は左が2年度、右が4年度)

評 価 項 目	4(適切)・3(ほぼ適切) 2(やや不適切)・1(不適切)	
	2年度	4年度
学校運営方針は策定されているか	3.58	3.79
運営方針に沿った事業計画が策定されているか	3.42	3.57
運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	3.33	3.21
人事・給与に関する規程等は整備されているか	2.92	3.50
教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	3.25	3.29
コンプライアンス体制が整備されているか	3.42	3.43
教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	3.42	3.57
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3.00	3.07

①課題

- ・学科内の情報共有が不足しているように感じる。
- ・給与体制の改善が為されることを期待する。
- ・勤務時間において、遅番早番の徹底。
- ・教務主任業務の過負担。
- ・学生募集活動により、学校業務に支障をきたす場合がある。

②今後の改善方策

- ・学科内ミーティングを定期的開催し、全員で取り組める体制を確立していく。
- ・教務に関する業務を教員間で分配し、効率化を図る。

- ・学生が一審質問しやすい放課後の時間は、患者対応が多い時間となってしまう、学生の対応がしにくくなってしまふ。難易度が着々と上がる国家試験に向けて、より細かな指導が必要になってくるが、授業の用意や成績不良者への対応をする時間が確保しづらいことが課題となっている。

- ・学生募集活動は、学校全体で取り組む。空いている教職員が対応するべきだと考えるため、情報の共有や連携の強化が必要。

- ・教員間での協力が不可欠。

③特記事項

- ・人事に関して担当事務の追加が非常に良いと感じている。一方で規定に基づいて設置している教員数を増やしてほしい
- ・物価に応じて給与を加算することや、他校の給与を参考に改定をお願いしたい。

(3) 教育目標

(数値は左が2年度、右が4年度)

評価項目	4(適切)・3(ほぼ適切) 2(やや不適切)・1(不適切)	
	2年度	4年度
教育目標等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	3.58	3.57
教育目標・人材育成像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	3.25	3.50
学科のカリキュラムは体系的に編成されているか	3.50	3.64
キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	3.33	3.29
各関連分野の実習施設等の関係施設や各団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直しが行われているか	3.17	3.21
実践的な職業教育(実技・実習・演習・インターンシップ等)が体系的に位置づけられているか	3.33	3.36
授業評価の実施・評価体制はあるか	3.17	3.21
職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	3.67	3.64
成績評価・単位認定・進級判定・卒業判定の基準は明確になっているか	3.42	3.71
資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	3.50	3.57
人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	3.08	3.00
関連分野における各団体との連携において優れた教員(本務・兼務を含む)を確保するなどマネジメントが行われているか	2.83	2.93
関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取り組みが行われているか	2.83	2.86
職員の能力開発のための研修等が行われているか	3.00	2.86

①課題

②今後の改善策

- ・学生の教員評価をさらに強化し、質の高い授業を保つ必要がある。定期的にも外部や他学科の教員の授業見学も有効だと考える。
- ・学生の研修については今年度、病院実習を実施する予定である。その他の研修もJESA総会後に定期的に開催される研修に、積極的に参加していく。
- ・学生がシラバスや学校要覧を最初の読み合わせ以降ほとんど確認していない。
- ・今後どんな状況にも対応できるように、さらに専門的な知識を付ければならない。
- ・多様化している柔道整復師の職域に、触れる幅が狭い。
- ・校外で実施されている研修会や求人説明会。

③特記事項

- ・学生が確認しないのであれば、シラバスの配布は不要と考える。

(4) 学修成果

(数値は左が2年度、右が4年度)

評価項目	4(適切)・3(ほぼ適切) 2(やや不適切)・1(不適切)	
	2年度	4年度
就職率の向上が図られているか	3.25	3.36
資格取得率の向上が図られているか	3.33	3.36
退学率の低減が図られているか	3.17	3.21
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3.33	3.43
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	3.00	3.21

①課題

②今後の改善策

- ・退学になる前の学生の変化に気付くことと、気軽に相談できる環境作りが必要である。
- ・定期的に相談会や個人面談を、実施できる環境を作る必要がある。
- ・学修成果については、学生の意欲によるところが大きい。
- ・資格取得後の明確な目標が、定まっていないことが課題。
- ・就職活動の早期取り組みや、求人票の活用を考える。
- ・就職率自体は以前から高いが、学生が求めるような条件の就職先が少ない。
- ・県内希望者が多いので、主に県内の先生方との休暇や給料の交渉も必要になってくる。

③特記事項

- ・消防就職率、国家試験合格率は良好である。このまま継続していきたい。

(5) 学生支援

(数値は左が2年度、右が4年度)

評価項目	4(適切)・3(ほぼ適切) 2(やや不適切)・1(不適切)	
	2年度	4年度
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	3.25	3.43
学生相談に関する体制は整備されているか	3.17	3.21
学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	3.33	3.57
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	3.17	3.64
課外活動に対する支援体制は整備されているか	3.08	3.29
学生の生活環境への支援は行われているか	3.08	3.29
保護者と適切に連携しているか	3.17	3.43
卒業生への支援体制はあるか	3.33	3.21
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3.25	3.29
高校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取り組みが行われているか	3.08	3.43

①課題

②今後の改善策

- ・学生の生活支援について、できることが限られるので保護者に支援を依頼しているのが現状である。
- ・保護者との連携をより強固なものとし、家庭と学校で相互監視、協力していく。
- ・経済的な要因によるアルバイトは致し方ないが、授業に影響がないが懸念される。
- ・学生にとって優先すべき事項(勉強)が何かを理解させる。
- ・卒業生を輩出しているが同窓会はあまり機能していない現状。
- ・OBやOGによる懇談会の実施

③特記事項

特になし

(6) 教育環境 (数値は左が2年度、右が4年度)

評価項目	4(適切)・3(ほぼ適切) 2(やや不適切)・1(不適切)	
施設・設備は教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	3.08	3.21
学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	2.92	3.21
地球環境に配慮した指導体制(クールビズ・ウォームビズ)が整備されているか	3.33	3.36
防災に対する体制は整備されているか	3.67	3.71

①課題

・体力錬成時の外の授業が狭くて実施しづらい。

・学生の資器材の扱い方に、丁寧さがかけている。(資器材の破損スピードが早い)

・学生がより良い状況で、学習できる環境を整える。

・学外実習施設が、確保されていないのが課題。

②今後の改善方針

・東御市体育館グラウンドや陸上競技場を利用する。

・傷病者の対応と、同様の対応が必要になる。

・教室の椅子をクッション性のある物に変える。

・卒業生の就職先、求人企業、地域関連企業との連携が必要。

③特記事項

(7) 学生募集 (数値は左が2年度、右が4年度)

評価項目	4(適切)・3(ほぼ適切) 2(やや不適切)・1(不適切)	
学生募集活動は適正に行われているか	3.25	3.29
学生募集活動において教育成果は正確に伝えられているか	3.50	3.57
学納金は妥当なものか	3.50	3.64

①課題

・ガイダンスが増えてきた際に教員の不足が生じる。

・学納金の使い道がどのようなものか、学生に周知ができていない。

・ガイダンス後のアンケート用紙の感想をまとめ、周知する

・学生の入学後、卒業後の報告が徹底されていない。

②今後の改善方針

・救急救命士学科全員で、ガイダンスができるように研修を実施する。

・HPにあげられているが、学生に見方がわかるのか。説明する時間があっても良いのではないか。

・ボランティアや学校行事の参加状況や卒業後の進路報告が必要。

③特記事項

・入学者数の極端な減少がないように、引き続き学生募集を強化していく。

・学生募集活動は重要だと思いが、残された教員の負担が増える。休講が重なることもあるので、時期や回数、回り方など効率的に実施する工夫が必要になる。

(8) 財務 (数値は左が2年度、右が4年度)

評価項目	4(適切)・3(ほぼ適切) 2(やや不適切)・1(不適切)	
中長期的に学校の財政基盤は安定しているといえるか	2.58	3.00
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	2.83	3.21
財務について会計監査が適正になされているか	3.50	3.50
財務情報公開の体制整備はできているか	3.50	3.43

①課題

・財務に関しては本部から説明を密にしてもらいたい。

・入学数で財源が増減しているのは把握できるが、財政が安定しているのかは不明。

②今後の改善方針

・第三者を通しての監査が必要と感じる。

・学校経営に関心を持つ機会があると良い。

③特記事項

特になし

(9) 法令等の遵守 (数値は左が2年度、右が4年度)

評価項目	4(適切)・3(ほぼ適切) 2(やや不適切)・1(不適切)	
法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	3.42	3.50
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	3.67	3.57
自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	3.17	3.21
自己評価結果を公開しているか	3.42	3.50

①課題

・個人情報保護の取り扱いについては、危機管理が無いように感じる。

・HPで問題点等の改善など公開しているが、学生がそれを理解しているかが疑問。

・自己評価問題点の改善が実施できていない。

・柔道整復師専科教員の補充

②今後の改善方針

・教務用のPCの取り扱いについて、研修・管理を徹底すべき。

・公開していることを周知させる。教職員が内容を確認できるようにデータ化。

・チェックリストを作成し、日々の意識を高め業務に取り組む。

③特記事項

特になし

(10) 社会貢献・地域貢献

(数値は左が2年度、右が4年度)

評 価 項 目	4(適切)・3(ほぼ適切) 2(やや不適切)・1(不適切)	
	2年度	4年度
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3.33	3.36
学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	3.17	3.21
地域に対する公開講座等を積極的に実施しているか	3.33	3.50

①課題

・よりボランティアに参加する機会が増えるように、本校の宣伝を実施する必要がある。

・小、中学校の出張講座要請はあるが高等学校からの要請が少ない。

②今後の改善方策

・進路指導室、各学年担任への情報発信が必要。

③特記事項

特になし